

≧ 知識と臨床を繋ぐ症例検討

症例を把握する

～症例検討をするための基本的な考え方～

1. 分析チャートの記入
2. 問題点の仮説の立て方
3. 目標設定とは
4. 評価とアプローチの視点

日時：2023年1月27日（金） 20：00～

講師：脳外臨床研究会

作業療法士 山本秀一郎





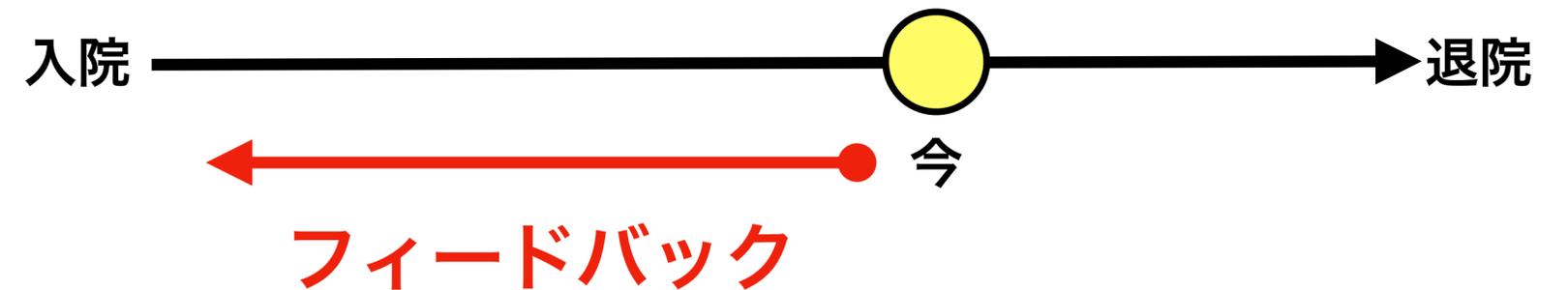
GOOD
COMFORTABLE
BASICS

症例検討



症例検討

担当した症例を振り返って特有の問題点を洗い出し、適切な治療選択がなされたかを吟味するという、臨床的意思決定過程を検証する意味合いが強い後見的な意見交換である



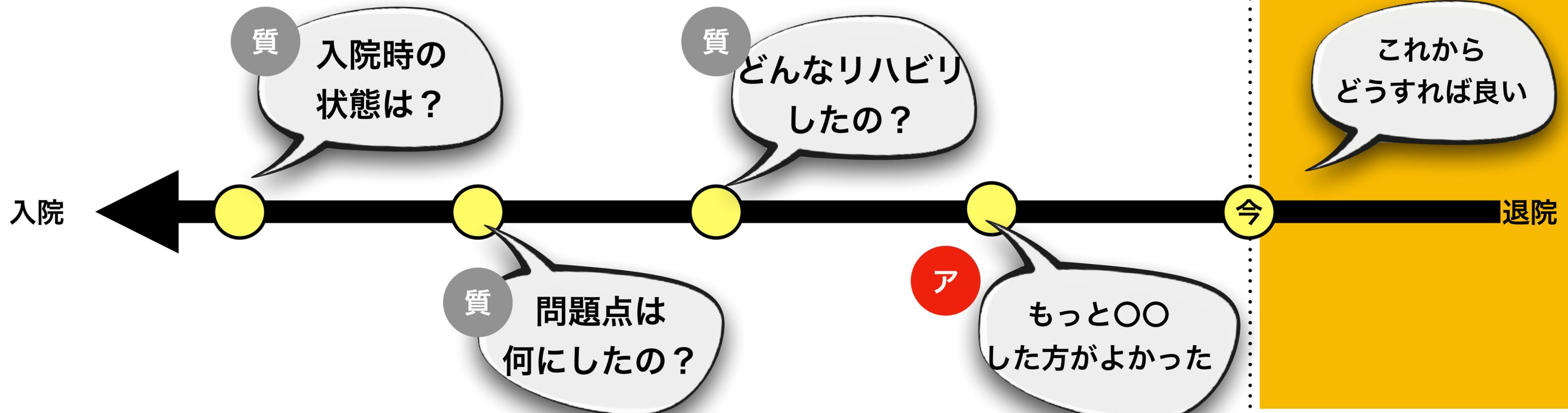
やってきたリハビリが正しかったのかの振り返り

初期評価から問題点の抽出
アプローチの結果がどうであったか？

症例検討

担当した症例を振り返って特有の問題点を洗い出し、適切な治療選択がなされたかを吟味するという、臨床的意思決定過程を検証する意味合いが強い後見的な意見交換である

症例検討 = 担当の間違い探し



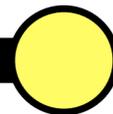
山本が行う症例検討

症例検討＝参加者のプレゼンテーションである

目標

①目標達成のために

入院



未来



山本が行う症例検討

症例検討＝参加者のプレゼンテーションである

目標

①目標達成のために

④今後の行動方針と
課題を提案する

③今から何を
どう変えていくか？
の仮説を立てる

未来の話をする場所

これから
どうすれば良い

入院

②今ある過去の情報を
分析する

未来

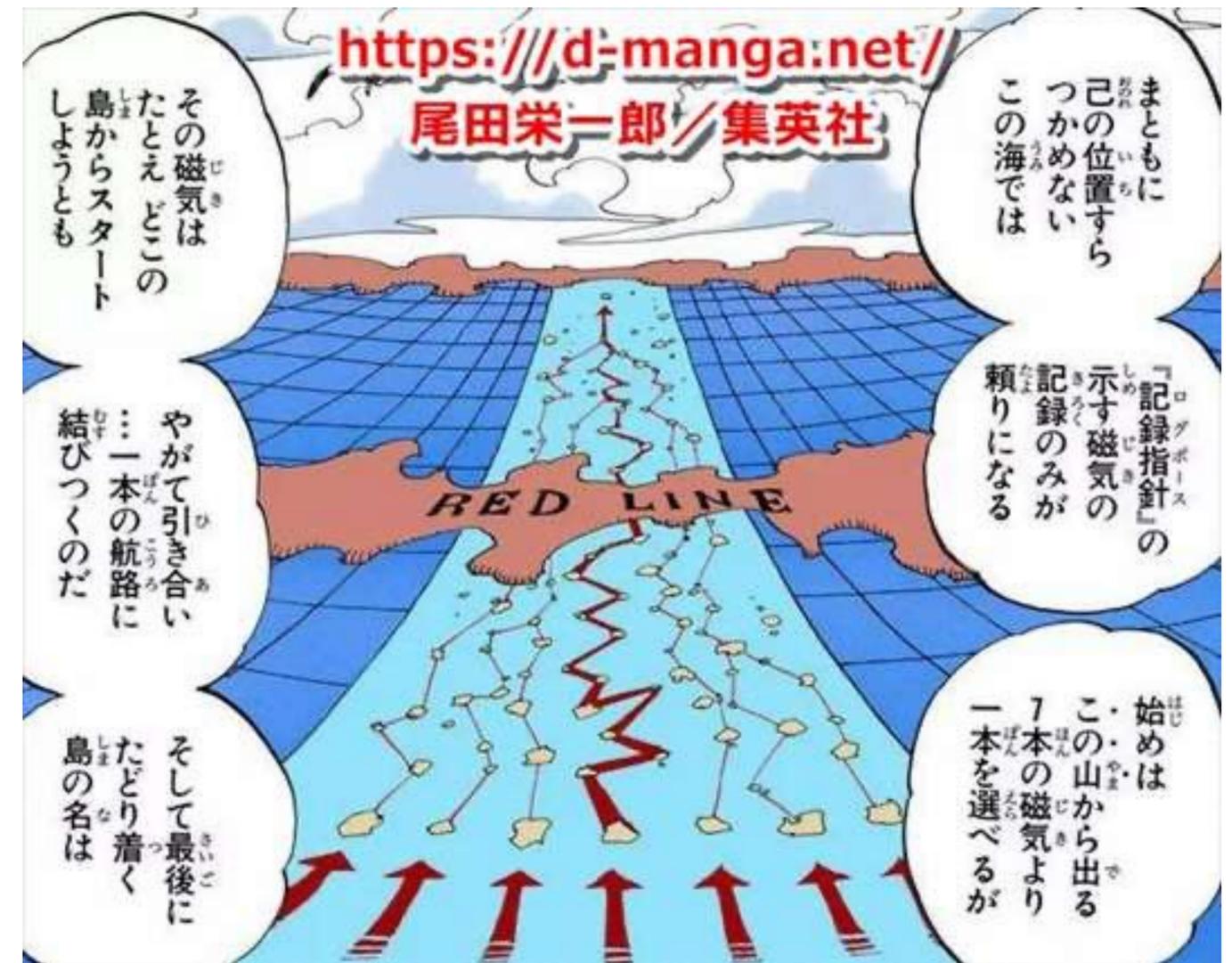
目標設定とは？

ゴールに向かって進むための道標

目標設定とは？

ゴールに向かって進むための道標

ゴール設定に必要な条件とは？



目標設定とは？

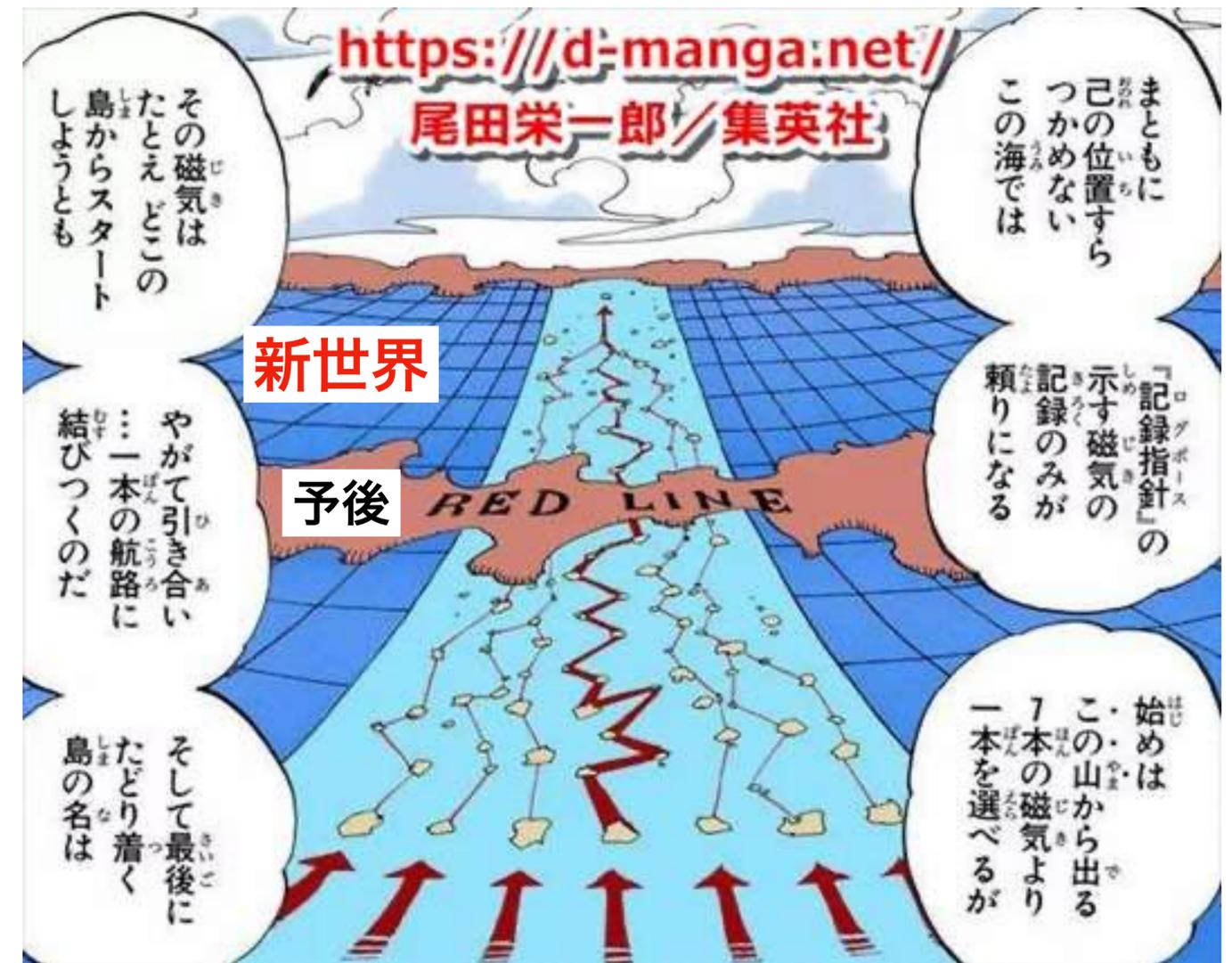
ゴールに向かって進むための道標

ゴール設定に必要な条件とは？

目的の設定(世界一の海賊王に俺はなる)

どうすればなれるのか？ (要素)

どこからスタートするのか？



目的と要素

目標：箸蔵くんを使った 食事動作の獲得



箸蔵くん

目的

- ①母指随意性を使ってADL参加
- ②痙性を予防も踏まえ随意屈曲
- ③手指から肘・肩へと運動がつながる

ADLで母指の屈曲ができて
伸展をサポートしてくれるもの

目的と要素

<評価>

positive

<症状評価>
母指の随意性軽度+
(内転・屈曲)
認知機能+

<原因評価>

視床出血

回復の可能性 大

negative

<症状評価>
手指の随意性低下
右上肢に痙性
表在感覚障害

<原因評価>

視床出血

回復に時間 大

リハビリ的ゴール
<フルリカバリー>
元の状態への回復

ADL
動作獲得

自分のことは自分で

参加
動作獲得

社会的な自立

随意運動

手指 (特に母指)

物品操作

上肢操作

認知機能

筋緊張

肩・肘 (支持基底面: 手掌)

姿勢保持(支持)

セルフケア動作

感覚

手指の先端

探索・接触

移乗・移動動作

随意運動

手首・前腕

コミュニケーション

姿勢制御

基本動作

目的

- ①母指随意性を使ってADL参加
- ②痙性を予防も踏まえ随意屈曲
- ③手指から肘・肩へと運動がつながる

目的と要素

～箸ぞうくんを使った食事動作の獲得～

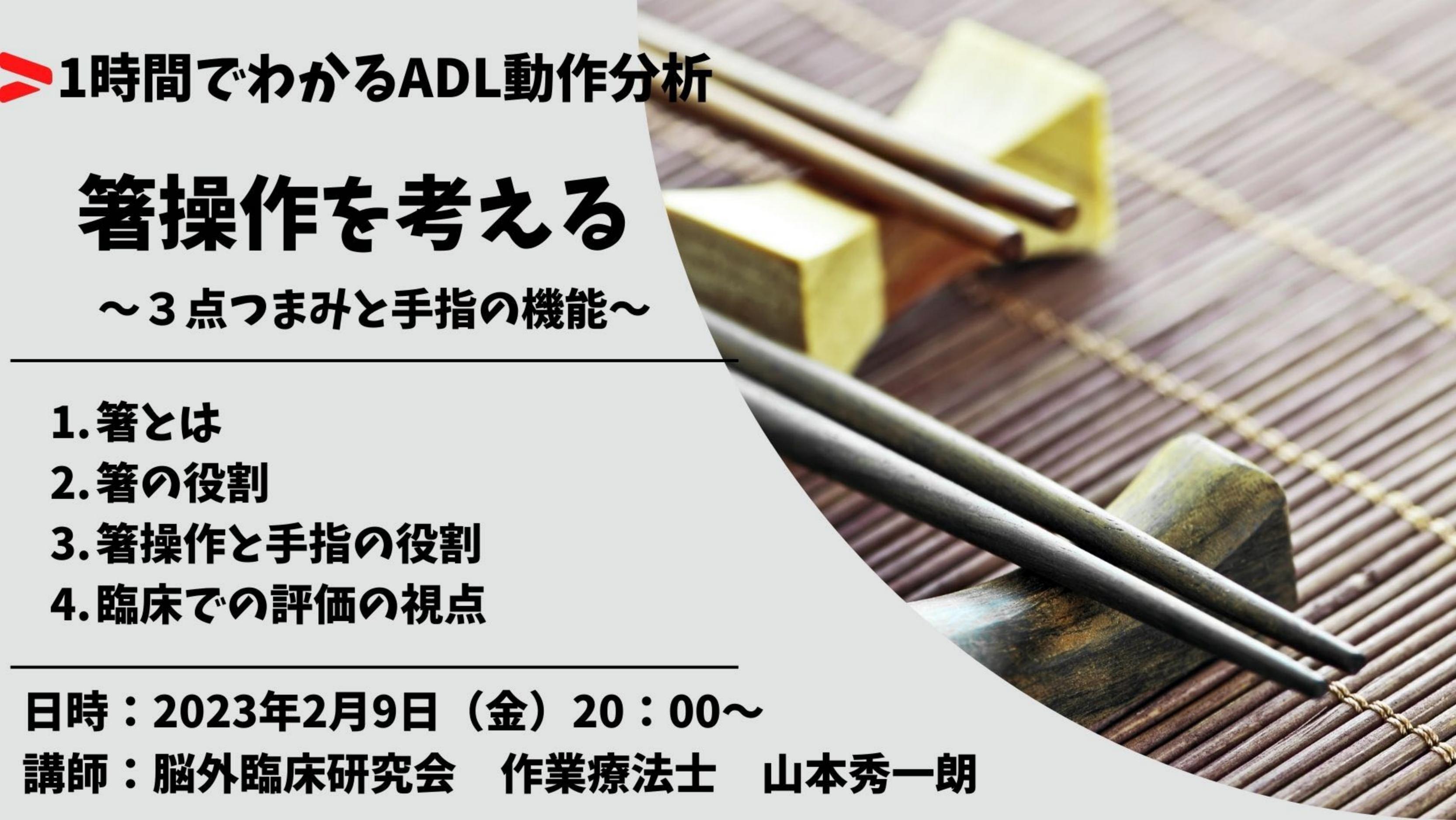
明日から使える
痙性麻痺の上肢をADL（食事）で使えるようにするための
山本流オリジナルアプローチ

セミナーゴール

- ①なぜ痙性・運動麻痺が起こるのか？
- ②どうすれば改善するのか？
- ③食事自立のためのアプローチ方法と優先順位



講師：作業療法士 山本秀一郎



➤ 1時間でわかるADL動作分析

箸操作を考える

～ 3点つまみと手指の機能～

1. 箸とは
2. 箸の役割
3. 箸操作と手指の役割
4. 臨床での評価の視点

日時：2023年2月9日（金）20：00～

講師：脳外臨床研究会 作業療法士 山本秀一郎

目的

- ①母指随意性を使ってADL参加
- ②痙性を予防も踏まえ随意屈曲
- ③手指から肘・肩へと運動がつながる

目的と要素

～箸ぞうくんを使った食事動作の獲得～

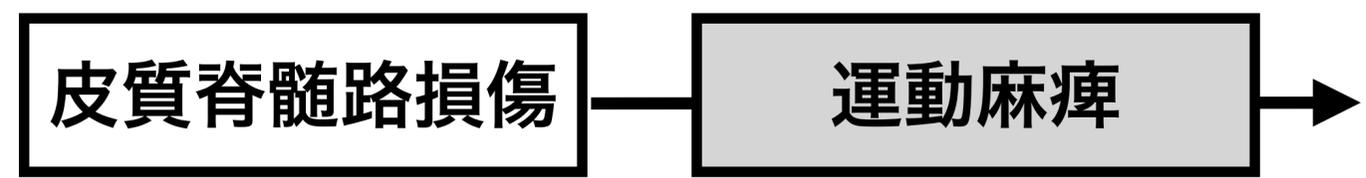
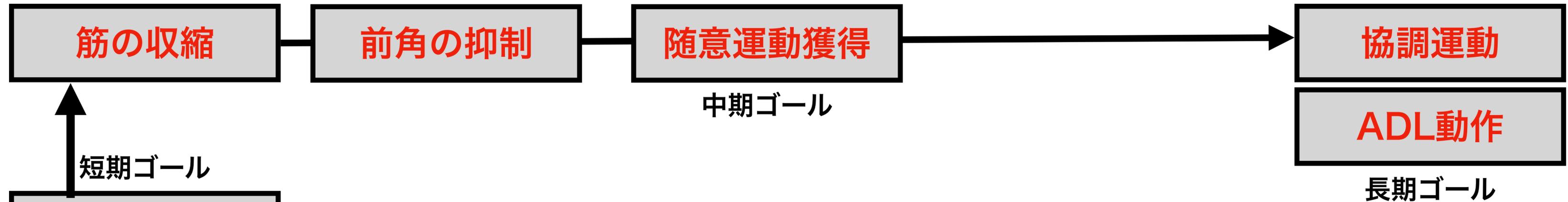
- ①随意運動で皮質脊髄路の可塑性変化
- ②随意運動で上肢運動ニューロンの活用
- ③分離の拡大で連合反応の抑制

短期ゴール

分離運動

皮質脊髄路損傷

運動麻痺



なぜ、痙性が起こるのか？

目的

- ①母指随意性を使ってADL参加
- ②痙性を予防も踏まえ随意屈曲
- ③手指から肘・肩へと運動がつながる

目的と要素

～箸ぞうくんを使った食事動作の獲得～

- ①随意運動で皮質脊髄路の可塑性変化
- ②随意運動で上肢運動ニューロンの活用
- ③分離の拡大で連合反応の抑制

皮質脊髄路損傷

運動麻痺

弛緩

目的

- ①母指随意性を使ってADL参加
- ②痙性を予防も踏まえ随意屈曲
- ③手指から肘・肩へと運動がつながる

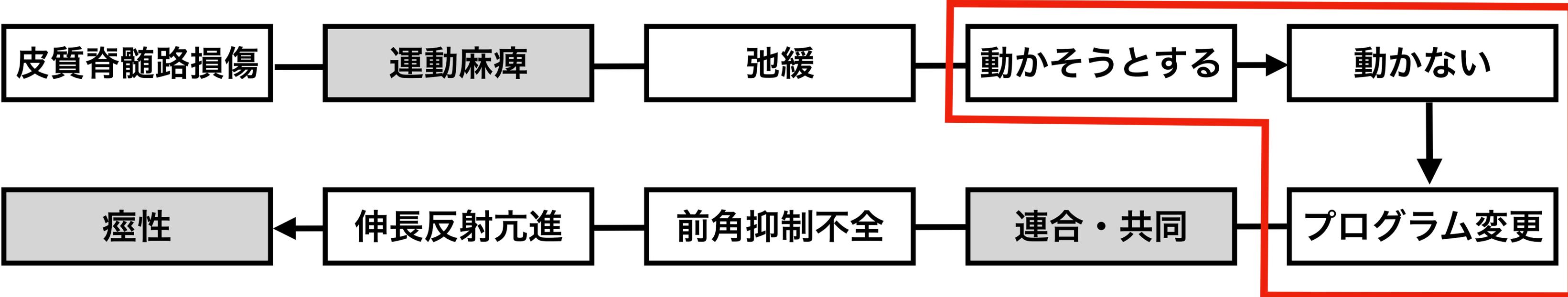
目的と要素

～箸ぞうくんを使った食事動作の獲得～

- ①随意運動で皮質脊髄路の可塑性変化
- ②随意運動で上肢運動ニューロンの活用
- ③分離の拡大で連合反応の抑制

<原因は上位運動ニューロン障害>

<動作評価ではこの部分を見つける>



上位運動ニューロンの役割

上位運動ニューロンの役割

運動の発動

反射の抑制

運動の発動

食事動作と痙性

反射の抑制

前角細胞のコントロール＝随意運動＝分離

痙性

リーチアウト

リーチイン

運動の発動

食事動作と痙性

反射の抑制

前角細胞のコントロール＝随意運動＝分離

痙性

リーチアウト

リーチイン

①肘屈曲

①肘伸展

①肘屈曲

②肩内転・内旋

②肩屈曲・水平内外転・外旋

②肩内転筋・外旋

③回内

③回内

③回外

④掌屈

④背屈

④掌屈

⑤手指屈曲

⑤手指伸展

⑤手指屈曲

症例検討会

- ① 目的から目標を見つけること
- ② 目標から要素を抽出する
- ③ 要素の観点から評価を行う
- ④ 評価から統合と解釈を話し合う
- ⑤ 統合と解釈から仮説を立てる

リハビリ的ゴール
＜フルリカバリー＞
元の状態への回復

ADL
動作獲得
自分のことは自分で

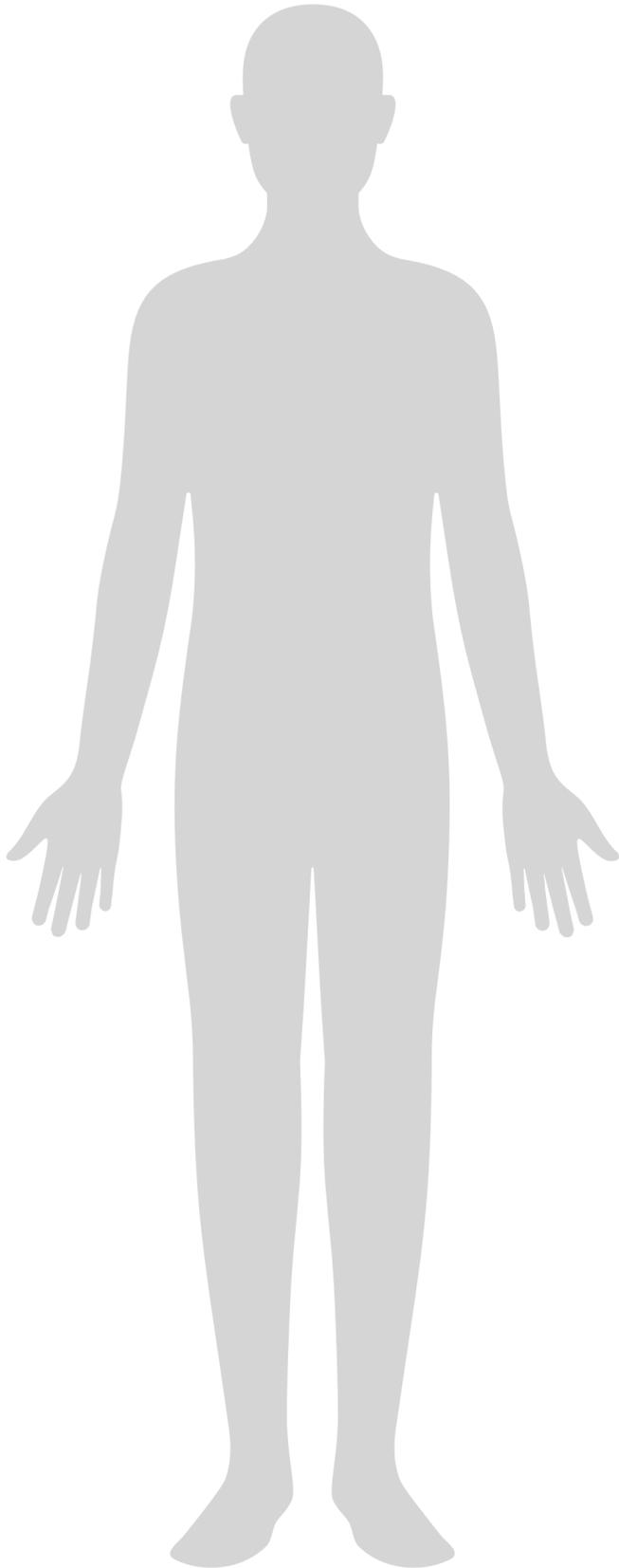
参加
動作獲得
社会的な自立

認知機能

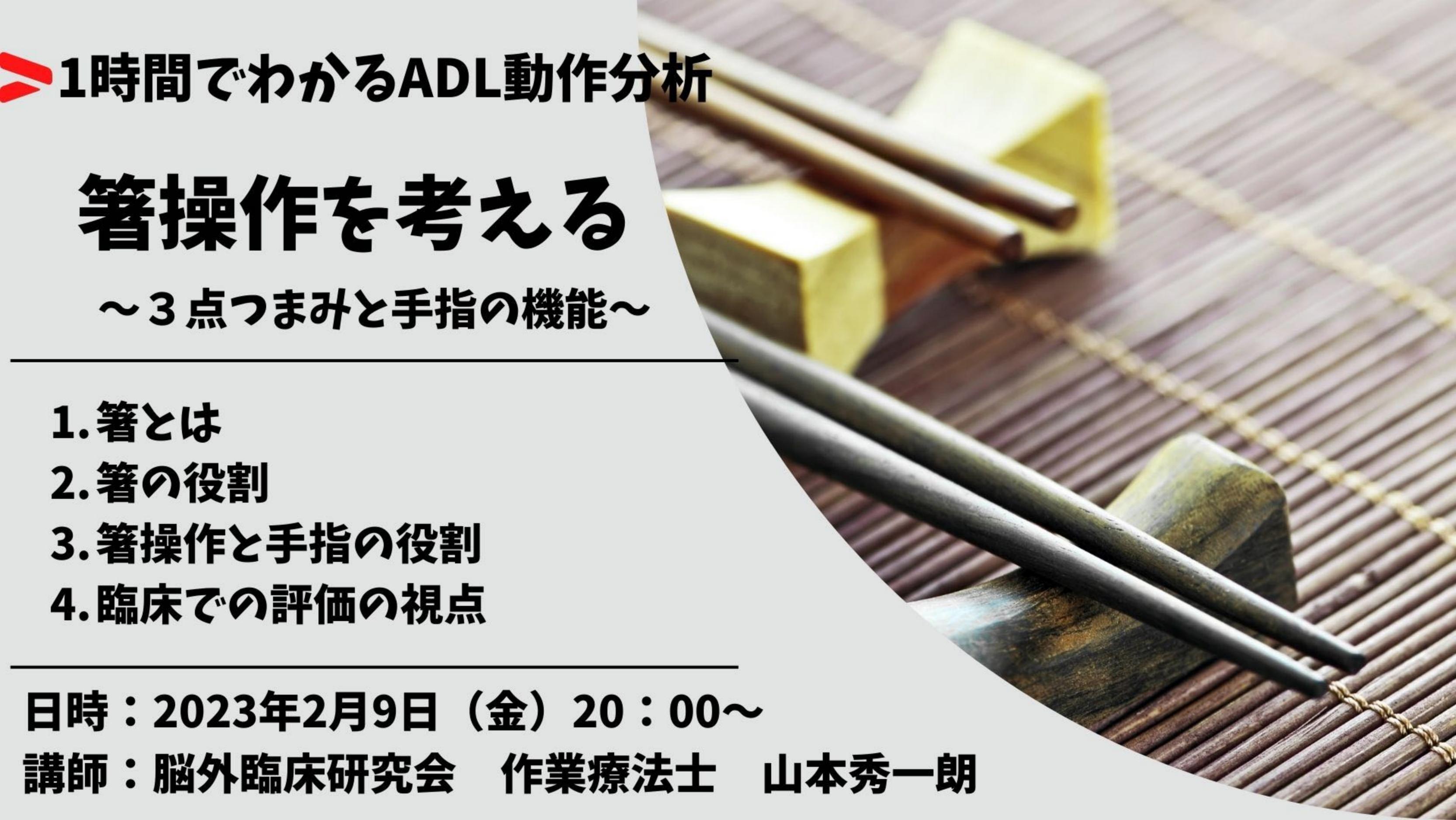
セルフケア動作

移乗・移動動作

基本動作



統合と解釈してみよう！

A background image showing a pair of wooden chopsticks resting on a bamboo mat. The chopsticks are positioned diagonally, with one pair in the foreground and another pair in the background. The mat has a distinct woven texture. The overall lighting is warm and natural.

➤ 1時間でわかるADL動作分析

箸操作を考える

～ 3点つまみと手指の機能～

1. 箸とは
2. 箸の役割
3. 箸操作と手指の役割
4. 臨床での評価の視点

日時：2023年2月9日（金）20：00～

講師：脳外臨床研究会 作業療法士 山本秀一郎